

◆ 平成 29 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 エコ.エコ

20A-13

代表者：代表理事 加倉井憲一

URL : <http://kaerunomaru.world.coocan.jp>

1. 活動が必要とされた状況

さいたま緑のトラスト保全第1号地（さいたま市緑区）と見沼代用水をはさみ隣接している元田んぼと原野で希少動植物の保護活動を行っています。今年度は調査を生かした保全活動を行い、より自然を深く見つめたいという目標をたてました。自然観察会、里山体験などの体験型環境学習を通し、次世代に繋ぐ生物多様性に関する啓発を行っています。調査のための用具や生物多様性のシンボルとしてヨシで龍を作るために助成を必要としました。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）2017.4.1～2018.2.20

湿地保全 月2回、他に臨時保全を実施 観察会 年12回 里山体験 畑、森、湿地での保全体験 ゴミ拾い 支援活動 チャレンジスクール、民家園、地球っ子クラブ 2000、アンロード、桜環境センター夏休み環境サマースクール 埼玉県モニタリング調査 イベント 桜エコフェスタ、見沼秋フェス 森の手入れ などの活動を行いました。

ボランティア延べ人数 726 人 一般参加者大人 659 人 子ども 774 人 計 2,159 人

3. 活動の成果

昆虫、クモ、カタツムリの専門家に調査をお願いしたことにより、希少種を確認することができました。また、センサーカメラを設置したことにより、夜の生きものの様子を知ることができました。ヨシで作った龍の中に希少種のハチが営巣していることが分かり、解体した後の処理方法を変え、生きものに配慮した保全を行うことができました。クモの希少種も確認することができました。



4. 今後に残された課題

調査を生かした保全を行い、より深い自然保護活動につなげていきます。観察会、里山体験、イベントを通したつながりの中で、生物多様性の理解の輪を広げていきます。手入れしている場所が公有地化されるように努力することが今後の課題です。